

番組審議会 第654回

開催日 2021年11月15日(月)

■委員の出席

	委員総数	10名	
	出席委員数	10名	
出席者	委員長	音 好 宏	
	副委員長	中 江 有 里	
	委 員	江 澤 佐知子	尾 縣 貢
		萱 野 稔 人	喜田村 洋 一
		佐 藤 智 恵	長 嶋 有
		藤 原 帰 一	水無田 気 流

TBSテレビ	佐々木	社 長
	渡 辺	常務取締役
	伊佐野	常務取締役
	岩 田	取締役
	瀬戸口	編成局長
	安 田	コンテンツ制作局長
	坂 本	コンテンツ制作局 バラエティ制作三部長
	浜 田	コンテンツ制作局 バラエティ制作三部プロデューサー
	中 田	編成考査局長
	村 田	編成考査局視聴者サービス部長
	天 野	番組審議会事務局長

■議事概要

1. 審議事項

(1) 「東大王」11月3日(水・祝)19:00~20:30放送分
(SDGs特別編・合体SPのうち「東大王」部分)

(2) その他

2. 報告事項

(1) ミスゼロキャンペーンについて

3. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声について

(2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(「東大王」SDGs 特別編について)

□TBS という公共性の高い放送局が、SDGs に関し組織を設け、積極的に活動する。その延長としてメイン業務の放送に取り込んでいくことは、非常に意味がある。

□(SDGs の) 事例紹介が圧倒的に多かった。人類共通課題としての貧困・格差など、今後どういう形で紹介し、取り組むのか、非常に重要だ。

□世界のSDGs 比較というコンセプトは非常に良かった。一方で、世界で共通の目標を掲げていることの意義や、どうしたら個人レベルで持続可能なのかにまで踏み込むと、また違うステージに行くのではないか。

□無関心層にもSDGs を理解してもらい、面白く紹介する、意義ある番組だ。

□若い世代はこうした問題への感性が、年長者より鋭い。SDGs は、これぐらいポップにライトに考え、日常に取り入れる問題だということを、年長世代に伝えてくれる、意義深い番組だった。

□SDGs をバラエティに適用した時に、かつてはゲテモノ食いだったセミを食うシーンが、良いことに見える。バラエティがシリアスなことを楽しく扱うことに意味がある一方、複雑な気持ちにもなる。

□飢餓や富の不平等など、グローバルな格差は、SDGs の中心的な課題。番組では、この課題とのつながりが見えにくかった。

□ナチュラルサイエンスはバラエティに取り上げられやすい一方、不平等を無くすなど、ソーシャルサイエンスの部分が手薄ではないか。

□世界の事例と日本の事例が非常に豊富に、テンポ良く紹介されていた。特に、途上国の事例が入っていたのは良かった。

*TBS では、番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(TBS テレビ番組審議会事務局)